

◇ 事業報告

事業団総括事項

令和5年度は、長らく続いた新型コロナウイルス感染症の感染が徐々に収束し、5月からは5類感染症に移行したこともあって社会の感染症への警戒心も弱まり、日常生活の正常化と経済活動の活性化が進展した1年となったため、事業団が管理する施設等においては、感染症対策に留意しながらも安定した運営を行うことができ、多くの施設等で利用者が前年度を上回る結果となりました。その一方で、委託料や光熱水費などを始めとする多くの物価が上昇したため、施設の運営コストの増加という課題に直面することとなりました。

なお、9月の台風第13号により内郷児童館が被災し、一月半近く臨時休館を余儀なくされましたが、関係者の尽力により再開することができました。また、いわきサン・アビリティーズといわき市健康・福祉プラザでは、施設の一部を被災者の避難所として提供し、クアハウスではいわき市からの要請により被災者や災害ボランティアに無料入浴サービスの提供を行いました。

収支の面では、多くの物価上昇の影響により委託料や光熱水費などを中心に経費が上昇した影響を受け、公益目的事業では、7,043千円の赤字となりました。一方で、収益事業でも経費増の影響はあったものの、いわきゆったり館デイサービスセンターの利用者が前年度を大きく上回ったことが奏功し、3,335千円の黒字となりましたが、事業団全体では3,621千円の赤字となり厳しい経営状況が続く結果となりました。

1 公益目的事業（社会福祉事業）

1. 総括事項

公益財団法人の核となる公益目的事業として、次の社会福祉事業を実施しました。

○公の施設の指定管理業務

- ・老人福祉センター及び老人憩いの家
- ・児童館・児童センター及びこども元気センター
- ・永井保育所
- ・いわきサン・アビリティーズ
- ・いわき市健康・福祉プラザ温泉利用型健康増進施設及び宿泊研修施設

○いわき市からの委託事業

- ・地域子育て支援拠点事業
- ・パラスポーツ体験教室開催事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・健康づくりサポートセンター事業

○その他の公益事業

- ・ 障害者相談支援事業（計画相談支援）
- ・ 温泉療法事業
- ・ ゆったりレッスン事業

これら施設の管理運営業務並びに各種事業の業務について、不特定多数の者の利益の増進に寄与することを求められる公益目的事業として、広く市民福祉の向上に寄与すべく、新型コロナウイルスを含めた感染症の予防に留意しつつ運営、実施に努めました。

(1) 施設貸与事業（表 1 - 1 参照）

①老人福祉センター及び老人憩いの家

新型コロナウイルス感染症の収束に伴い感染に対する懸念が減少したこと、利用制限を受けていた活動も利用再開するなど、高齢者の趣味の団体やサークルの利用が回復してきたため、五施設とも利用件数、利用者数とも前年度を上回り、利用件数は前年比 622 件(31.8%)増の 2,579 件でした。

②児童施設[こども元気センター、小名浜児童センター、内郷児童館]

- ・ 地域子育て支援拠点事業（表 1 - 2 参照）

子どもの遊び場、子育て支援の拠点である児童館・児童センター及びこども元気センターについても、新型コロナウイルス感染症の収束と 5 類移行に伴いコロナ対策の利用制限を終了したこともあり利用者は増加し、児童施設全体では前年比 24,941 人(32.4%)増の 101,924 人となり前年度を上回る結果となりました。

施設別では、こども元気センターが前年比 25,210 人(43.9%)増の 82,582 人、小名浜児童センターが前年比 1,015 人(13.5%)増の 8,548 人でしたが、台風の被害で一月半臨時休館した内郷児童館は前年比 1,284 人(10.6%)減の 10,794 人となりました。

また、児童施設を会場に実施している地域子育て支援拠点事業については、前年度と同様に子育て中の保護者からの相談等に応じてきましたが、三施設ともに利用親子の数は前年度より減少、全体で 1,002 組(15.1%)減の 5,627 組となり、子育てに関する相談業務の件数も前年比 1,054 件(21.4%)減の 3,869 件にとどまりました。

③永井保育所

三和町の施設近郊で暮らす幼児の保育業務を実施しました。保育所運営の一環である運動会や発表会などの行事を行うとともに新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染予防・対策にも留意しながら運営しました。

前年度在籍した児童 7 名全員が引き続き 1 年間利用したことから、延利用人数は前年比 41 人(2.9%)増の 1,434 人でした。

④いわきサン・アビリティーズ[障がい者教養文化体育施設]

・主催事業及びパラスポーツ体験教室開催事業（表1-3参照）

主として障がい者のスポーツや趣味・教養の場として体育館や研修室等を提供する施設として、消毒や換気等の感染対策に留意しながら運営しました。利用制限を終了したこともあり、利用者は障がい者、健常者ともに前年度より増加しました。例年、実施している各種障がい者スポーツの大会、交流会など計画した主催事業も中止することなく実施できたため、利用者数は、障がい者が前年比2,670人(36.5%)増の9,990人となり、その他利用者を含めた全体でも8,115人(33.0%)増の32,700人となりました。一方、いわき市から受託し、いわきサン・アビリティーズを会場に実施したパラスポーツ体験教室開催事業については、東京パラリンピックの開催から2年が経過したこともあり健常者の参加が振るわず、6人(8.1%)減の68人とどまりました。

⑤いわき市健康・福祉プラザ

ア 温泉利用型健康増進施設[クアハウス]（表1-4参照）。

温水プールやトレーニングルーム、各種温浴施設の利用を提供することにより生活習慣病の予防など利用者が日々健康増進を図れる施設として、消毒等の感染症対策を行いながら管理運営を行いました。

前年9月をもって年間会員の利用が皆減したためコロナ禍前の利用者数には及ばないものの、利用料金が割安になる回数券利用を中心に徐々に利用者が増加、回数券利用者は前年比32,677人(52.3%)増の95,164人と増え、回数券の販売も堅調に推移し、100回券、20回券合わせて1,934冊、57,636千円の売上で、前年度より12,868千円(28.7%)増加しました。また、土、日曜を中心に現金での入場者も増加傾向にあります。その結果、クアハウス全体の利用者数は、会員利用減はあるものの前年度比10,308人(8.0%)減の119,116人となりました。

イ 宿泊施設（表1-5～7参照）

前年度1年を通し実施された宿泊・観光業を支援する事業の「福島県民割」、「全国旅行支援」が3月いっぱい終了したことから、宿泊者の半数が当該旅行支援を活用していた当館宿泊施設においても終了の影響は少なく、2月に1カ月間だけ「旅行支援」が再開しましたが、その効果は限定的なものでした。夏場に4件の団体利用があったものの、利用者数は340人(9.2%)減の3,347人で、前年度を下回る結果となりました。

ウ 浴室付大広間

低廉な料金で手軽に温泉を楽しめる入浴施設である浴室付き大広間についても、新型コロナウイルスの5類移行を機に利用制限を緩和して営業を行いました。クアハウスの年間会員から移行して常連的に利用する方が定着するなど利用者数の増加傾向は継続し、1日100人を超える日も見られるようになりました。利用者数は前年比6,152人(26.2%)増の29,621人でした。

エ 研修施設

各種団体などに会議や研修の場として貸し出しを行っている研修施設についても 5 類移行に伴い利用制限を終了して運営することができたため、延利用時間は前年比 117 時間(6.3%)増の 1,960 時間となりました。なお、いわき市からの要請により、前年度に引き続き日曜日の午前中、研修室を新型コロナウイルスワクチン接種会場として提供しましたが、その延利用時間は研修室(大)・(小)合わせて 216 時間(前年度 352 時間)でした。

(2) いわき市からの受託事業

① ファミリー・サポート・センター事業 (表 1-8 参照)

共働き世帯などの子育てを支援するファミリー・サポート・センター事業については、育児支援を希望する方を依頼会員とし、育児を援助できる協力会員を募集して子育て支援活動を斡旋する事業として実施しました。新型コロナウイルス感染症の収束を機に各研修会や会員の親睦を深める交流会の実施を通して会員増を図り、協力会員 4 人、両方会員 1 人の新規登録を得ましたが、加齢や身体の不調を理由に退会する協力会員や子供の進学、進級に伴う依頼会員の退会者もあり、依頼、協力会員は現状維持、両方会員数が前年より 5 人(0.8%)減少し、合わせて 632 人となりました。

支援活動件数についても、会員数がほぼ現状維持だったこともあり前年比 45 件(4.1%)減の 1,042 件となりました。

② 健康づくりサポートセンター事業 (表 1-9 参照)

事業開始 4 年目を迎えた健康づくりサポートセンター事業は、一期 6 カ月の前・後期制から一期 3 カ月の三期制に変更し、それぞれ 50 人ずつ参加者を募集し、健康づくり初心者生活習慣病の予防や改善に資することを目的に、利用者が自主的にトレーニングする時間と体育指導員による 45 分間トレーニング、管理栄養士による栄養指導、相談などの内容でカリキュラムを構成し実施しました。その利用者数は前年度に比べ 260 人(10.3%)増の 2,783 人となりました。

(3) その他の公益事業

① 障害者相談支援事業[計画相談支援] (表 1-10 参照)

障害福祉サービスの利用を希望する障がい者に対し、本人の希望や生活上の課題を聞き取り、サービス利用計画を作成する計画相談支援業務を、いわき市障害者生活介護センターを拠点に実施しました。その支援件数は前年比 14 件(3.4%)減の 394 件となりました。

② 温泉療法事業（表 1-11 参照）

温泉利用型健康増進施設の認定を受けているいわき市健康・福祉プラザにおいて、実施できる温泉療法事業については、男性 1 名から事業内容等についての問い合わせがあり、当館の温泉利用指導者による説明後、提携している温泉療法医を受診、温泉療養指示書を取得されましたが、郡山市在住であったため当館での温泉療法メニューの実施に至らず、実績は 0 件となりました。

③ ゆったりレッスン事業（表 1-12 参照）

健康・福祉プラザを会場に、市民の健康増進に寄与するために当館体育指導員により令和元年度まで毎年実施してきた「いきいき健康教室事業」の後継事業として、室内での運動と水中運動の 2 つのコースを設定し、4 月から 1 期 4 回で全 8 期を開催、実施しました。その利用者数は、延 279 人となりました。

1-1 施設貸与事業(各施設の利用状況)

	施設名	令和5年度①	令和4年度②	比較 ①-②	令和元年度
老人施設	平老人福祉センター	545 ^件	447 ^件	98 ^件	779 ^件
	小名浜老人憩いの家	592	369	223	690
	勿来老人福祉センター	347	261	86	509
	内郷老人福祉センター	564	475	89	643
	四倉老人福祉センター	531	405	126	711
	件数計	2,579	1,957	622	3,332
児童厚生施設	こども元気センター	82,582 ^人	57,372 ^人	25,210 ^人	98,128 ^人
	(※内小学生)	(13,165)	(7,563)	5,602	(19,217)
	(※内未就学児童)	(31,575)	(23,600)	7,975	(36,755)
	(※内大人)	(36,780)	(26,081)	10,699	(42,009)
	(※地域活動推進事業)	(231)	(128)	103	(147)
	小名浜児童センター	8,548 ^人	7,533 ^人	1,015 ^人	19,778 ^人
	(※内小学生)	(97)	(43)	54	(5,594)
	(※内未就学児童)	(3,885)	(3,563)	322	(6,845)
	(※内大人)	(3,583)	(3,185)	398	(5,576)
	(※内プール利用者)	(689)	(355)	96	(1,056)
	(※地域活動推進事業)	(294)	(387)	△ 93	(707)
	内郷児童館	10,794 ^人	12,078 ^人	△ 1,284 ^人	30,744 ^人
	(※内小学生)	(390)	(632)	△ 242	(12,554)
	(※内未就学児童)	(5,032)	(5,667)	△ 635	(7,802)
	(※内大人)	(4,456)	(4,926)	△ 470	(6,463)
	(※内プール利用者)	(483)	(392)	210	(2,682)
	(※地域活動推進事業)	(433)	(461)	△ 28	(1,243)
	人数計	101,924 ^人	76,983 ^人	24,941 ^人	148,650 ^人
	(※内小学生)	(13,652)	(8,238)	5,414	(37,365)
	(※内未就学児童)	(40,492)	(32,830)	7,662	(51,402)
	(※内大人)	(44,819)	(34,192)	10,627	(54,048)
	(※内プール利用者)	(1,172)	(747)	306	(3,738)
	(※地域活動推進事業)	(958)	(976)	△ 18	(2,097)
	永井保育所	1,434 ^人	1,393 ^人	41 ^人	907 ^人
いわきサン・アビリティーズ	32,700 ^人	24,585 ^人	8,115 ^人	39,531 ^人	
(※内障がい者)	9,990 ^人	7,320 ^人	2,670 ^人	12,874 ^人	

	施設名	令和5年度①	令和4年度②	比較 ①-②	令和元年度
健康・福祉プラザ	健康増進施設	119,116人	129,424人	△ 10,308人	297,441人
	(※年間利用券利用)	0	(55,889)	△ 55,889	(271,592)
	(※回数券利用)	(95,164)	(62,487)	32,677	(4,142)
	宿泊施設	3,347	3,687	△ 340	5,006
	浴室付大広間	29,621人	23,469人	6,152人	17,921人
	研修施設	1,960時間	1,843時間	117時間	1,958時間

※研修施設の令和4、5年度実績には、ワクチン接種会場としての提供時間を含む

1-2 地域子育て支援拠点事業の実施状況

		令和5年度①	令和4年度②	比較 ①-②	令和元年度
元気	利用親子	1,316組	1,747組	△ 431組	1,851組
	相談件数	1,350件	1,802件	△ 452件	2,134件
小名浜	利用親子	1,472組	1,679組	△ 207組	2,988組
	相談件数	498件	467件	31件	1,223件
内郷	利用親子	2,839組	3,203組	△ 364組	2,980組
	相談件数	2,021件	2,654件	△ 633件	1,381件
合計	利用親子	5,627組	6,629組	△ 1,002組	7,819組
	相談件数	3,869件	4,923件	△ 1,054件	4,738件

1-3 いわきサン・アビリティーズ主催事業実施状況

大会・事業名	参加人数	大会・事業名	参加人数
モルック交流会	15	リアル野球盤交流会	18
卓球大会	29	ブラインドテニス大会大会	28
ボッチャ大会	15	教養講座作品展示会	22
車いすテニス大会	4	オセロ大会	18
ローリングゴールボール大会	9	バスケットボール大会	49
スルーネットピンポン大会	23	レクリエーションスポーツ交流会	18
レクリエーションスポーツ交流会	16	ショートテニス大会	8
リアル野球盤交流会	14	アーチェリー競技会	2
レクリエーションスポーツ交流会	14	フライングディスク大会	10
卓球バレー大会	24		

パラスポーツ体験教室開催事業

(単位 人)

	令和5年度①	令和4年度②	比較 ①-②	令和元年度
障がい者	49	30	19	82
その他(健常者)	19	44	△ 25	164
合計	68	74	△ 6	246

1-4 健康増進施設の利用状況

(単位 人)

区分	利用人数			構成比	令和4年度 ②	比較 ① - ②	令和 元年度	
	男性	女性	合計①					
ビ ジ タ ー	高齢者・障がい者	3,426	1,383	4,809	4.0%	2,213	2,596	4,621
	一般利用(大人)	11,000	5,589	16,589	13.9%	7,309	9,280	2,409
	〃 (小人)	406	250	656	0.6%	429	227	788
	〃 (夜間)	0	0	0	0.0%	0	0	3,219
	小計	14,832	7,222	22,054	18.5%	9,951	12,103	11,037
	年間利用券利用	0	0	0	0.0%	55,889	△ 55,889	271,592
宿 泊 者	高齢者等	104	108	212	0.2%	217	△ 5	215
	一般利用(大人)	121	160	281	0.2%	156	125	119
	〃 (小人)	37	9	46	0.0%	21	25	51
	小計	262	277	539	0.5%	394	145	385
回 数 券	高齢者等	32,427	27,485	59,912	50.3%	42,214	17,698	2,802
	一般利用(大人)	18,964	15,505	34,469	28.9%	19,668	14,801	1,248
	〃 (小人)	401	382	783	0.7%	605	178	92
	小計	51,792	43,372	95,164	79.9%	62,487	32,677	4,142
	入場券利用	12	12	24	0.0%	175	△ 151	8,633
	その他利用	295	1,040	1,335	1.1%	528	807	1,652
	合計	67,193	51,923	119,116	100.0%	129,424	△ 10,308	297,441

1-5 宿泊施設の利用状況

(単位 人)

区 分	利用人数			構成比	令和4年度 ②	比 較 ①-②	令和 元年度	
	男性	女性	合計①					
宿 泊 施 設	高齢者・障がい者	991	957	1,948	58.2%	2,404	△ 456	3,351
	障がい者(小人)	26	5	31	0.9%	12	19	26
	一般利用(大人)	650	536	1,186	35.4%	1,128	58	1,396
	〃 (小人)	121	61	182	5.4%	143	39	233
	合計	1,788	1,559	3,347	100.0%	3,687	△ 340	5,006

1-6 宿泊施設の稼働状況

(単位：%)

	令和5年度①	令和4年度①	比較① - ②	令和元年度
部屋稼働率	28.4	31.0	△ 2.6	43.3
定員稼働率	19.1	21.0	△ 1.9	28.5

1-7 宿泊者の地域別利用

(単位 人)

区 分		令和5年度 ①	構成比	令和4年度 ②	比 較 ①-②	令和 元年度
地 域 別	いわき市内	324	9.7%	850	△ 526	2,320
	福島県(いわき市を除く)	994	29.7%	1,271	△ 277	574
	関東	1,775	53.0%	1,380	395	1,740
	北海道・東北(福島を除く)	150	4.5%	110	40	209
	上記以外	104	3.1%	76	28	163
	合 計	3,347	100.0%	3,687	△ 340	5,006

1-8 ファミリー・サポート・センター事業の実施状況

(単位 人、件)

	令和5年度①		令和4年度②		比較 ①-②		令和元年度	
依 頼 会 員 数	318		318		0		432	
協 力 会 員 数	292		292		0		286	
両 方 会 員 数	22		27		△ 5		47	
計	632		637		△ 5		765	
支 援 活 動 件 数	1,042		1,087		△ 45		1,814	
基 本 研 修 会	8回	91人	8回	63人	0回	28人	8回	88人
ステップアップ研修会	2回	29人	2回	41人	0回	△12人	2回	64人

1-9 健康づくりサポートセンター事業

※事業開始は令和2年度12月から

(単位 人)

	令和5年度①	令和4年度②	比較 ①-②	令和2年度 延利用者数 1,806人 令和3年度 延利用者数 2,656人
セルフトレーニング	2,104	1,959	145	
45分間トレーニング	397	352	45	
トレーニング計	2,501	2,311	190	
測定会・栄養相談等	282	212	70	
合 計	2,783	2,523	260	

1-10 障害者相談支援事業(計画相談支援)

(単位 件)

	令和5年度①	令和4年度②	比較 ①-②	令和元年度
計画相談	321	295	26	265
モニタリング加算	73	113	△ 40	108
合 計	394	408	△ 14	373

1-11 温泉療法事業

(単位 件)

	令和5年度①	令和4年度②	比較 ①-②	令和元年度
相談・問合せ件数	1	3	△ 2	2
温泉療法実施者数	0	0	0	0

1-12 ゆったりレッスン事業

※令和4年度は水中運動コースのみ11月から実施

(単位 人)

	令和5年度①	令和4年度②	比較 ①-②	令和元年度
シルバーコース	0	0	0	140
シェイプアップコース	69	0	69	90
水中運動午前コース	0	0	0	84
水中運動午後コース	210	31	179	143
夜間コース	0	0	0	52
合 計	279	31	248	509

※令和元年度は、前身のいきいき健康教室事業の実績

2 収益事業（介護事業）

1. 総括事項

令和5年度も事業団の収益事業として、いわき市健康・福祉プラザで通所介護事業と居宅介護支援事業を、いわき市障害者生活介護センターで障害者生活介護事業を感染症対策の徹底を図りながら、在宅で暮らす要介護者の自立的な生活の支援の一環として事業を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の収束と5類移行に伴い、感染症への警戒感も和らぐ中、主としていわきゆったり館デイサービスセンターの利用者が前年度を大きく上回る結果となり、4年ぶりに収益事業を黒字決算で終えることができました。

これら収益事業（介護事業）の収入は、処遇改善加算収入(7,850千円)を含むものの、三事業合わせて前年比19,191千円増の120,790千円でした。一方、支出は、前年比3,797千円増の117,455千円で、その収支は3,335千円の黒字となりました。

(1) 通所介護事業（表2-1～2参照）

いわきゆったり館デイサービスセンターにおいて、在宅の要介護・要支援高齢者を対象に通所介護事業を実施しました。馴染みのある事業所名に変更した効果もあり、新規利用の問い合わせ等が増え、33人の新規利用者を獲得し、10の方が複数回の利用に移行するなど、死亡や施設への入所などの登録取消を超過して利用者数の増加を図ることができました。結果として、介護予防を合わせた延利用者は前年比1,392人(27.6%)増の6,439人となりました。

この結果、収入は、処遇改善加算収入(4,070千円)を含んで前年比14,185千円増の56,091千円で、支出は前年比844千円増の47,714千円であったため、収支は8,377千円の黒字となり、併設する居宅介護支援事業所の赤字を合わせても黒字を確保できることとなりました。

(2) 居宅介護支援事業（表2-3参照）

いわきゆったり館居宅介護支援事業所では、高齢の要介護者等に対し、心身の状況等に応じた適切な介護サービスを利用できるよう専任の介護支援専門員によるケアプラン作成業務を実施しました。

令和5年度は、通所介護事業の利用者増によりデイサービスセンターのサポートに入る機会が増えたことから、新規利用者を増やすことができず、利用件数、収入ともに前年を下回る結果となりました。

ケアプラン作成件数は前年比115件(36.4%)減の201件で、収入は前年比742千円減の2,378千円、支出は前年比865千円増の8,197千円であったため、収支は5,819千円の赤字となりました。

(3) 障害者生活介護センター（表2-4～5参照）

障害者生活介護センターでは、在宅の障がい者を対象に地域での生活支援につながるよう通所による生活介護事業を実施しました。新型コロナの5類移行を機に、利用者の回復と新規利用の獲得を図りましたが、思うように利用者数を伸ばすことができず、既利用者の利用回数増による利用者数確保により現状を維持するにとどまりました。結果として、延利用者数は、前年比57人(0.9%)増の6,154人とわずかな増加にとどまりました。収入は、処遇改善加算収入(3,780千円)を含んで前年比5,884千円増の62,321千円となり、一方の支出も光熱水費や燃料費等の物価上昇の影響で前年比2,087千円増の61,544千円となったため、収支は777千円と僅かながら黒字となりました。

2-1 通所介護事業利用状況

	令和5年度①	令和4年度②	比較①-②	令和元年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	56	53	3	56
(2)年度開所日数 (日)	308	308	0	307
(3)年間利用予定者数 (人)	7,016	5,694	1,322	5,626
(4)年間延利用者数 (人)	5,620	4,498	1,122	5,290
(5)年間利用率 (%)	80.0%	79.0%	0	94.0%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	18.2	14.6	4	17.3

2-2 第1号通所事業利用状況

	令和5年度①	令和4年度②	比較①-②	令和元年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	10	6	4	8
(2)年度開所日数 (日)	308	308	0	307
(3)年間利用予定者数 (人)	921	644	277	694
(4)年間延利用者数 (人)	819	549	270	656
(5)年間利用率 (%)	87.8%	85.2%	0	94.5%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	2.7	1.8	1	2.2

2-3 居宅介護支援事業:ケアプラン作成件数

(単位 件)

区分	令和5年度①	構成比	令和4年度②	比較①-②	令和元年度
要支援1	0	0.00%	0	0	0
要支援2	9	4.48%	12	△ 3	25
要介護1	25	12.44%	61	△ 36	21
要介護2	97	48.26%	120	△ 23	99
要介護3	54	26.87%	115	△ 61	51
要介護4	16	7.96%	3	13	7
要介護5	0	0.00%	5	△ 5	12
合計	201	100.0%	316	△ 115	215

2-4 障害者生活介護センター利用状況

(単位 人)

障害支援区分	令和5年度①	構成比	令和4年度②	比較①-②	令和元年度
区分 2	511	8.30%	489	22	899
区分 3	1,646	26.75%	1,832	△ 186	1,708
区分 4	790	12.84%	848	△ 58	1,001
区分 5	924	15.01%	928	△ 4	1,245
区分 6	2,283	37.10%	2,000	283	2,160
合計	6,154	100.0%	6,097	57	7,013

2-5 障害者生活介護センター 登録者動静

(単位 人)

新規契約	契約解除	利用回数		区分変更	
		増	減	重	軽
8	8	5	3	2	0